

## 第9回校友懇話会のお知らせ

大阪府立大学校友会では、昨年9月から校友会会員(卒業生)が講師(校友会会員)の講話を聞き研鑽するとともに、懇親して親睦を深める「校友懇話会」が開かれています。このたび第9回目開催にあたり白鳥会から、卒業生の笹山桐子さんを推薦いたしました。皆さま、同窓生とともにふるってご参加よろしくお願いたします。

**日時:9月26日(月)18時30分から1時間**

**場所:大阪府大 中之島サテライト**

**テーマ:ニッポン人の元気を学ぼう～途上国で働く日本人の健康管理の現場から～**

現在、主な途上国に常時約10,000人のJICA関係者(随伴家族等も含む)が国際協力事業に携わっている。それら関係者が、心身共に健康で業務に邁進し無事に帰国するまで側面的に支援する事がJICA健康管理センターの目標であり、厳しい途上国での生活に耐えるよう、一貫した健康管理支援を行っている。全世界でJICAが援助対象としている国は約160ヶ国あり、91の在外機関があり、その内現在42ヶ国に在外健康管理員が配置され、関係者の健康管理支援業務に従事している。主な業務としては、日常的な健康相談や疾病予防対策、医療情報収集等の啓発活動に加え、関係者の緊急事態等が発生した場合の現地側医療機関と当センターとの間で“架け橋”となり関係者間の調整業務を担う等があげられる。そのようなJICA健康管理センターの現場から途上国で元気に働くJICA関係者の自己管理の能力の力、元気の源について講演する予定。

### 【講師プロフィール:笹山桐子さん】

1999年大阪府立看護大学看護学部卒業

東京都 国家公務員共済組合 虎の門病院 小児科・消化器外科病棟で勤務後

2002年7月から2005年4月まで青年海外協力隊に参加し、西アフリカのコートジボアール、セネガルでボランティア活動に従事。

帰国後は株式会社三越で産業看護師として3年間勤務

2009年8月から2010年11月まで国際協力機構(JICA)の専門家として西アフリカ セネガルに赴任し、

現場で働くJICA関係者の健康管理にたずさわる。

現在は、JICAの国内健康管理員として、アジアで働く関係者の健康管理を国内からサポートしている。